

(1) 耐震改修手法

・耐震診断結果

■耐震診断結果表 (現状) 耐震判定指標 $\mu_{SO}=0.60$

方向	階	F	E ₀	S _D	T	I _g	C _{TU} ・S _D	判定
X	4	1.00	3.04	0.95	0.900	2.60	2.89	OK
	3	1.00	1.97	0.82	0.900	1.45	1.61	OK
	2	1.00	1.31	0.85	0.900	1.00	1.11	OK
Y	1	1.00	1.16	0.95	0.900	0.99	1.10	OK
	4	1.00	0.90	0.95	0.900	0.76	0.85	OK
	3	1.00	1.02	0.95	0.900	0.87	0.97	OK
	2	1.00	0.74	0.95	0.900	0.63	0.70	OK
1	1.00	0.85	0.95	0.900	0.72	0.80	OK	

■耐震診断結果表 (改修) 耐震判定指標 $\mu_{SO}=0.90$

方向	階	F	E ₀	S _D	T	I _g	C _{TU} ・S _D	判定
X	4	1.00	3.40	1.00	0.971	3.30	3.40	OK
	3	1.00	2.00	0.81	0.971	1.57	1.62	OK
	2	1.00	1.32	0.88	0.971	1.12	1.16	OK
Y	1	1.00	1.19	1.00	0.971	1.15	1.19	OK
	4	1.00	1.64	1.00	0.971	1.60	1.64	OK
	3	1.00	1.31	1.00	0.971	1.27	1.31	OK
	2	1.00	0.99	1.00	0.971	0.96	0.99	OK
1	1.00	1.12	1.00	0.971	1.09	1.12	OK	

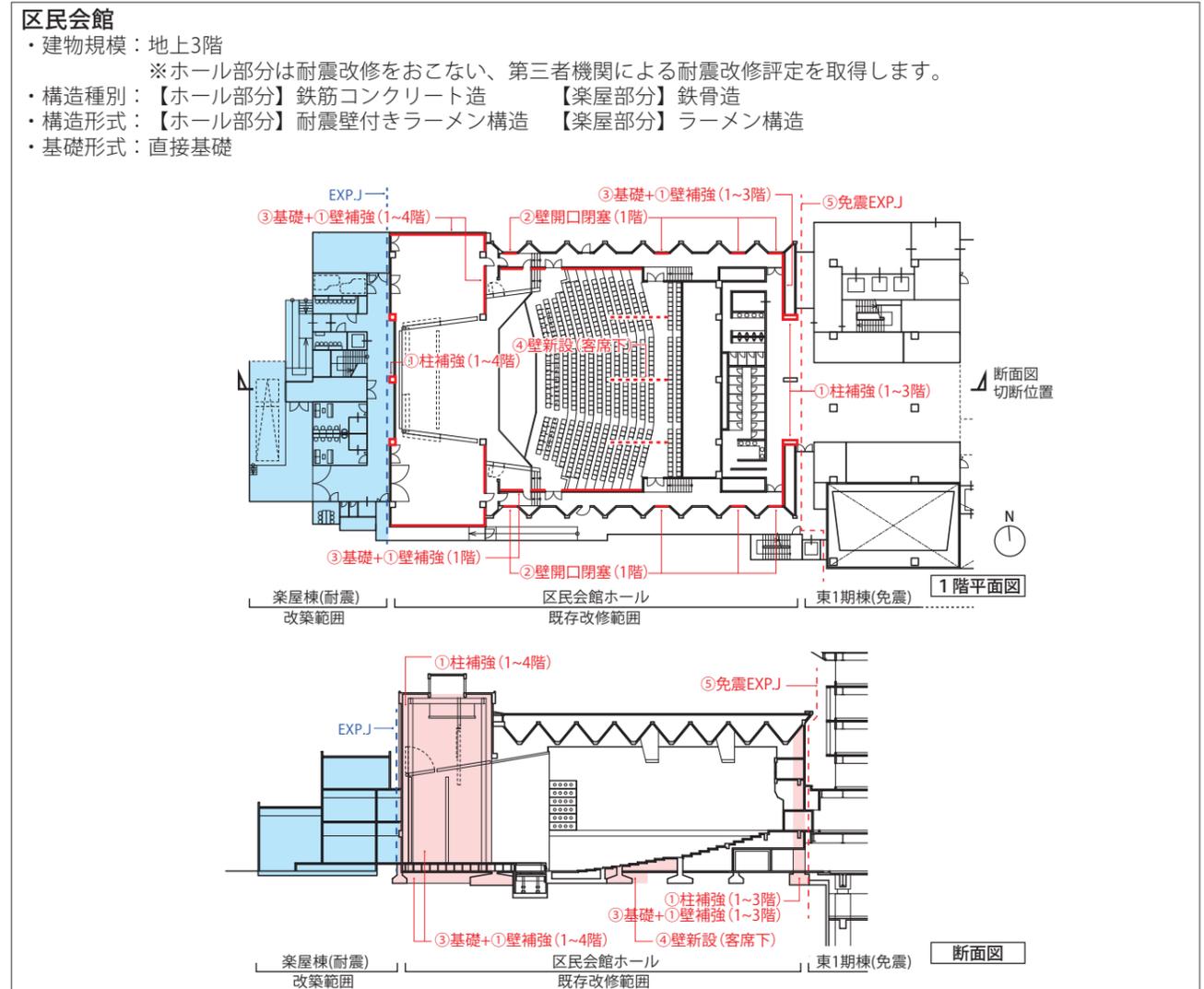
・ホール機能にも配慮したうえで補強可能な部位を抽出し、有効な補強方法を検討し、以下の手法により、既存建物の耐震性能向上を図ります。

- ① 既存の鉄筋コンクリート柱及び壁の厚さを増す補強
- ② 既存の鉄筋コンクリート壁の開口部を塞ぐ補強
- ③ 柱及び壁の補強による建物荷重の増加に伴う基礎の補強
- ④ 客席下に新たに鉄筋コンクリート壁を設ける補強
- ⑤ 隣接建物との間に地震時の建物変位に対して安全な離隔距離を確保する改修

(2) 躯体の長寿命化

- ・ひび割れ等躯体の補修、コンクリート打放し部の適正な保護材の塗布、中性化改善措置などにより、保存する躯体性能の確保、及び外観の美化を行います。
- ・金属屋根は防水性能向上のため改修し、コンクリート躯体を保護します。

○建物概要



(3) 内部改修計画

○舞台計画

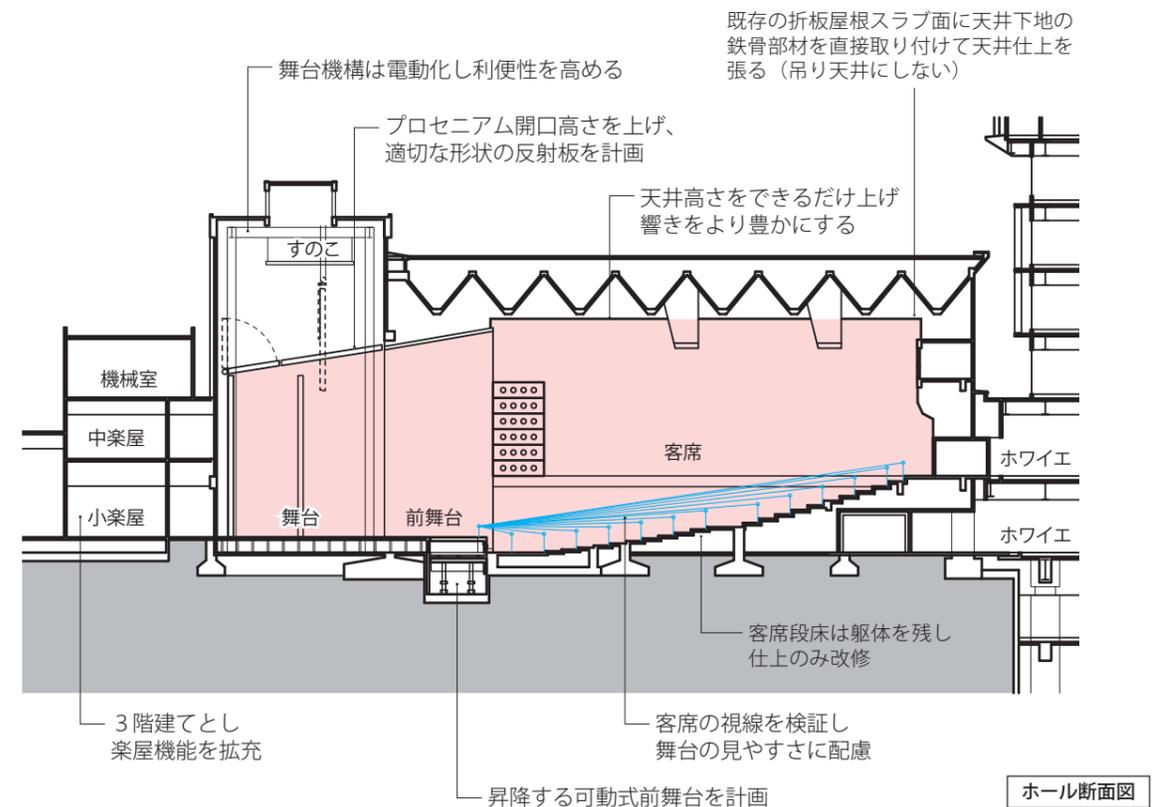
- ・プロセニウム形式の本舞台に加え、客席側の一部を可動式の前舞台として拡張し、大編成の演奏時において舞台面を大きく使用できるようにします。
- ・舞台機構は電動を主として耐荷重・速度のスペックアップを図りつつ、利用状況を踏まえた幕構成とし、利用しやすく転換を行いやすい計画とします。また、可動式の音響反射板を備え、生音の音楽演奏や合唱に対応します。
- ・近年の舞台特殊設備の傾向を踏まえ、常設機器及び持込み機器に対応する設備インフラ（電源・信号線等）を計画します。

○客席

- ・客席は固定席を基本とします。座席空間は最新の標準レベル程度に充実します。
- ・前舞台を使用しない時は、前舞台部分を客席に転換できるようにします。
- ・客席最前列及び最後列には、固定席を取り外すことで車いす席が設けられる計画とします。
- ・客席後方の2階には、防音性に配慮した親子室を2室設けます。
- ・厚重感のある既存施設の内装を参考にしつつ、客席部分の内装を検討していきます。

○サイトライン

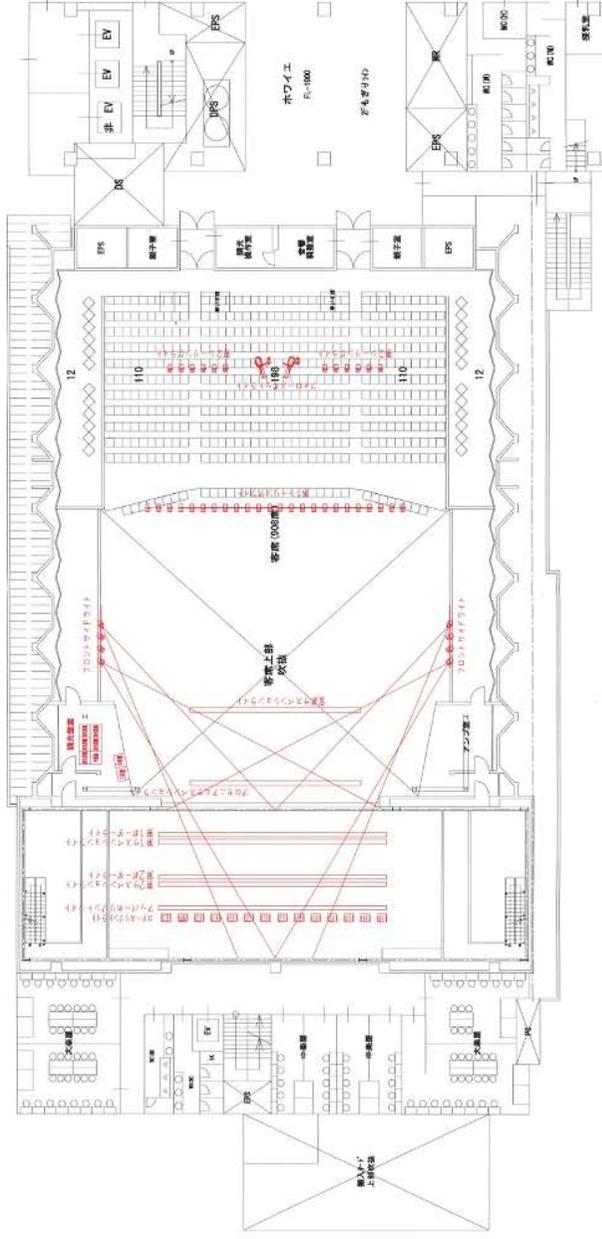
- ・各客席から主舞台への視認性を確保することはもとより、前舞台への視認性にも配慮した計画とします。



舞台照明設備計画

- ・ 多様な区民の活動、講演、音楽演奏、合唱、ダンス、演劇等多目的に利用できるよう、区民会館に舞台照明設備を設置します。
- ・ 電力ノイズによる舞台照明のちらつき等を防止するため、舞台照明用の変圧器は区民会館内に設置します。

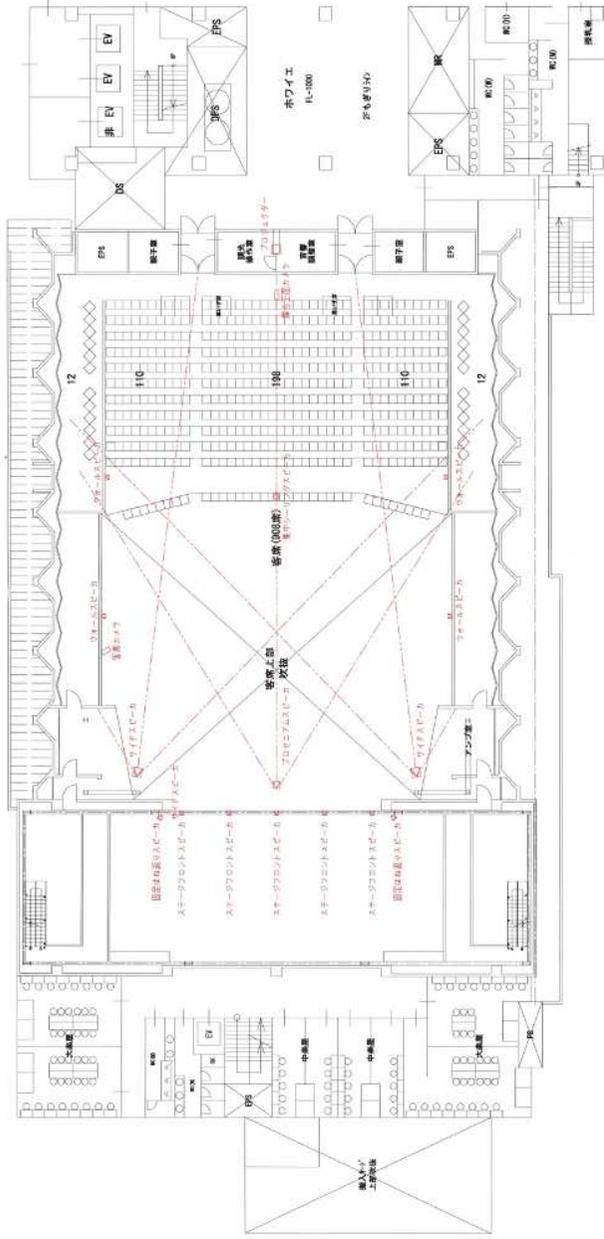
■舞台照明設備 平面プロット図



舞台音響・映像設備計画

- ・ 各種イベント、運用に合わせて、音響、映像の利用が可能なよう、区民会館に舞台音響・映像設備を計画します。また、運営側で使用する連絡設備を計画します。
- ・ 電力ノイズを抑え良好な音質を確保するため、舞台音響用の変圧器も区民会館内に設置します。

■舞台音響・映像設備 平面プロット図



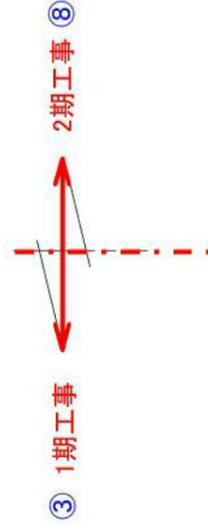
空調方式

- ・ ホール
エアハンドリングユニット(4管式)により、居住域を空調する床吹出し方式とします。

機械排煙設備計画

- ・ 建築基準法及び消防法に準じて、排煙設備を設置します。

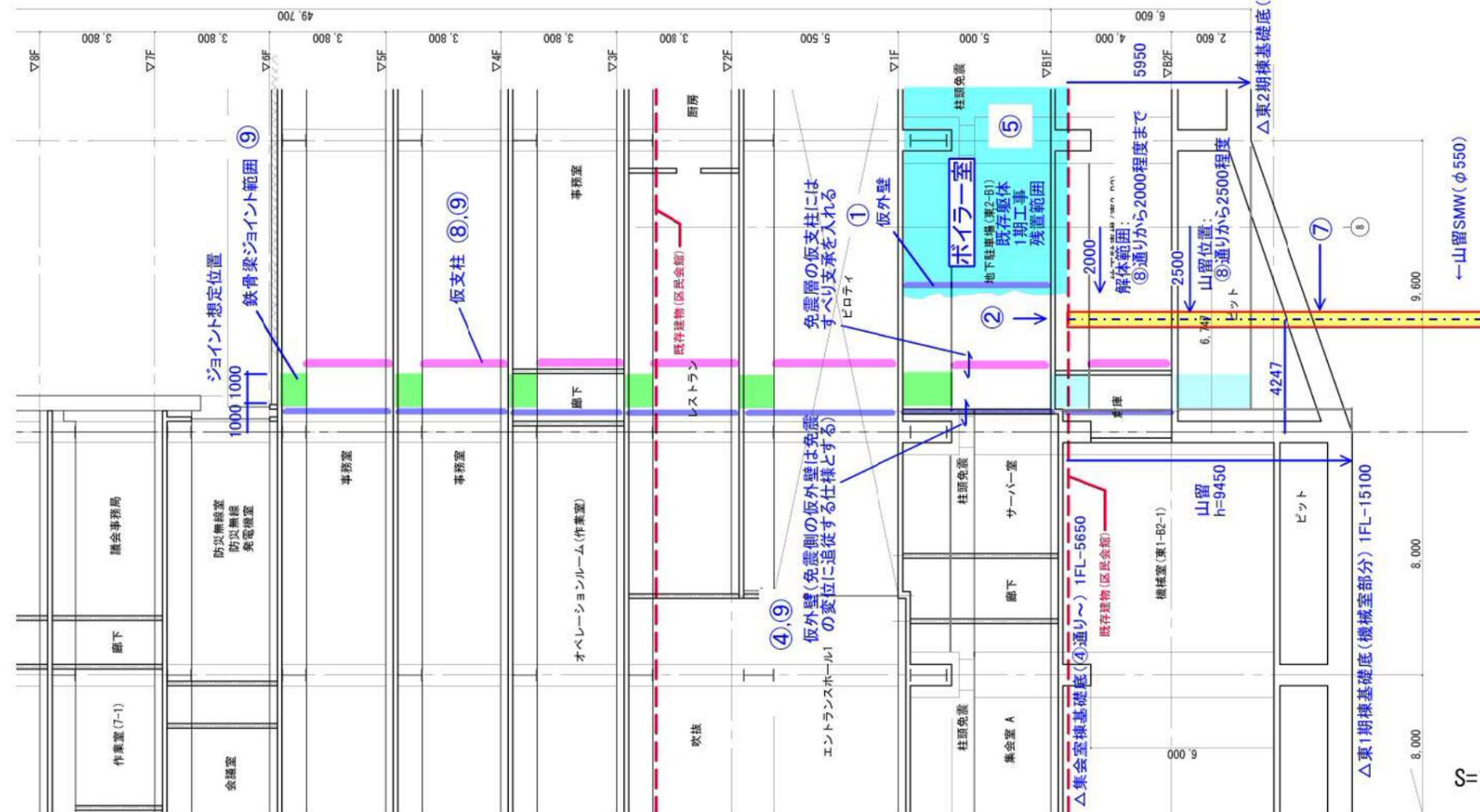
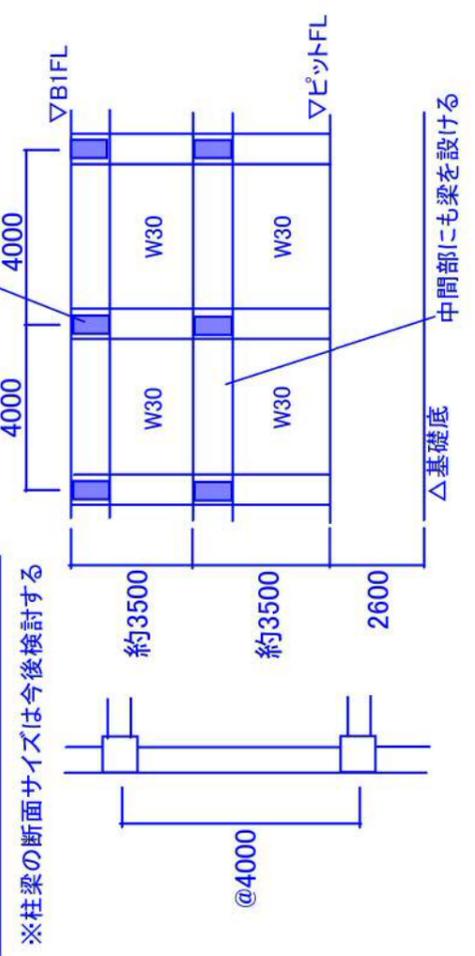
**東棟1期／2期境界
区民会館ホール棟／東棟1期**



- 【区民会館ホール棟／東棟1期境界施工手順】
- ①集会所棟解体
 - ②ホール／東1期境界山留め施工
 - ③東1期建設、ホール改修
 - ④ホール、東1期供用開始

- 【東棟1期／2期境界施工手順】
- 《1期工事》
- ①集会所棟解体～既存ボイラー室仮外壁設置
(既存⑧通り-2000まで解体、ボイラー室は残す)
 - ②東1期範囲、東1期/既存境界山留め施工
 - ③東1期建設、ホール改修
 - ④東1期仮外壁設置～供用開始
- 《2期工事》
- ⑤集会所棟(⑧通り～)・第一庁舎解体
 - ⑥東2期範囲山留め施工
 - ⑦掘削、東1期/2期境界山留め解体
 - ⑧東2期建設～工期境界仮支柱設置
 - ⑨東1期/2期接続～仮外壁撤去～仮支柱撤去・仕上工事
 - ⑩東2期供用開始

ドライエリア土圧壁フレーム案



【平面】

【立面】

東棟 ⑤断面検討図

東棟 ⑧断面検討図